

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第31回まちづくり構想部会）会議録

日 時：令和3年3月11日（木）まちづくり協議会終了後～午後8時5分
場 所：東淀川区役所3階区民ホール

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 構想部会に関するアンケートについて
(2) その他
- 4 その他
・次回部会予定 令和3年5月13日（木）午後7時から
東淀川区役所出張所 3階多目的室
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 資料-1 構想部会に関するアンケート
- ・ 資料-2 仮) まちづくり構想部会 Facebook への参加方法

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(1) 構想部会に関するアンケートについて

(事務局)

- ・ 今年の1月に部会員へ依頼していたアンケートの集計が完了した。主要な部分について報告する。
- ・ 問1 「「まちづくり構想」の地域への浸透（認知度）について」は、浸透していないという回答が多くあった。今後、アクションプラン作成を進めながら浸透を図りたい。
- ・ 問2 「部会の活動報告」については、表の通りである。
- ・ 問3 「アクションプランの策定状況について」は、順調に進んでいないという回答が多くあった。今年についてはコロナ禍の状況が原因だと思われる。
- ・ 問4 「アクションプランの策定のためにどこの協力が必要かについて」は、地域活動協議会、行政の協力が必要だという回答が多くあった。
- ・ 問5 「協議会、部会の有効性について」は、有効という意見が6割であった。しかし、有効ではないという意見も有り、事務局の課題の1つとして今後議論したい。
- ・ 問6 「令和3年度の進め方について」は、頂いた意見を踏まえコロナ禍に議論が偏らないようにしたい。

(2) その他

(部会員)

- ・ 次年度の令和3年度中にアクションプランを完成させるのか、アクションプランの素案を完成させるのか

といった目標がはっきりしていないように思える。地域の状況を踏まえて、敢えて具体化されていないところもあると思うが、締め切りを設けるべきではないか。また、地域活動協議会会長からも指摘があったが、この協議会自体がいつまで続くのかといったことも感じている。

- ・来年度中に各地域でここまで進めようといった目標はあった方が良いでしょう。

(部会長)

- ・私個人の思いだが、コロナ禍で人が集まり辛いことや、ワクチンの接種が10月末まで掛かるといった話もあり非常に困難な目標かもしれないが、個人的に、部会長としては来年度中にアクションプランを作ることを目標にできないかと思っている。
- ・協議会の方針として各地域のアクションプランを作成することを方針に明記している。次の段階では作成したアクションプランが実践できているかが目標になると思っている。まずは来年度各地域のアクションプランを作ることを共通の目標にして進めていきたいと思う。今後については、少し時間をもらって、追々考えていきたい。年度内にビジョンを作る思いで進めていきたいと考えている。

(事務局)

- ・今年度はワークシートを活用して構想部会を開催した。ワークシートについては地域でも活用していただければと思う。また、作成したFacebookについても今後活用できるようにしたい。

(久教授)

- ・部会員から目標が見えた方が良くはないかと意見があったが、その通りである。最初の2年間は西部地域全体のビジョンを作るといった目標に向かって議論を進めた。今は西部地域全体のビジョンが完成し、各地域のアクションプランを作る段階に入ったところである。現時点でアクションプランを作成できている地域と作成できていない地域で差があり、構想部会全体として何をすればいいのかが見えなくなっているのだと思う。
- ・アクションプランが作成できていない地域は、まず、アクションプランを作成することが共通の目標になると思う。
- ・アクションプランが作成できている地域は、実践段階に入っている。アクションプランにもとづいて活動ができているのか、実践するにはこういった準備が必要といった点が見えていると思う。次の段階に入らないと見えないことを、作成中の地域にフィードバックしてもらおうとアクションプランに反映できると思う。
- ・全ての地域のアクションプランが作成できたら終わりではない。アクションプランができただけでは地域は良くならない。アクションプランにもとづいてアクションが実行されてこそ、地域は良くなる。アクションプランができてからは、評価が必要になってくる。評価を持ち寄って年に何回か議論する必要があると思う。
- ・西部地域全体のビジョンを作成したのだから、各校区だけで進めていくだけでなく、校区を繋げた時の目標が達成できているのかも重要である。校区内の会議は非常にたくさんあると思う。しかし、校区を越えた会議はなかなか無い。今後は校区を越えた会議も必要になってくると思う。

- ・東淀川区は特殊で、他の区と違いまちづくりセンターがなく区役所の嘱託の職員が地活協の応援をしている。他の区はまちづくりセンターが支援を行い年に何回か校区を越えた講演会等が開催されている。東淀川区も同様に年に何回か校区を越えた行事ができたらと思っている。校区を越えた行事の時には西部だけでなく、東部も含めた東淀川区全体でできればと思っている。
- ・事例として、ある区のまちづくりセンターでは、実務者の交流会が開催されている。会長の連絡会ではなく、実務者の交流会であることが面白いところである。防災訓練の内容や運動会の景品の渡し方、予算の使い方などについて、校区を越えて共有されている。数年後になるかもしれないが、東淀川区で開催する時に部会員だけでなく実務者を入れて会議ができるとより有意義なものになると思う。
- ・構想部会という校区を越えて集まる場が設けられているので、有効に活用できたらと思う。2ヶ月に1回というペースについても息を長く意見交換する手もあると思う。部会員の皆さんと一緒に考えていきたい。

(事務局)

- ・構想部会で使用しているワークシートを地域で使用する際には、事務局から説明等させていただき、是非声をかけて貰いたい。

5. 閉会

- ・次回の部会は5月13日（木）午後7時から開催予定。

以上